

SPECIAL
COUPON

今回「寄り道ふえにーちえ」にご登場いただいた
“THE NOODLE FACTORY 麺ノ響”さんより

読者のみなさまへ
ステキなプレゼント!



こちらの「フェニーチェ堺 Vol.35」を
THE NOODLE FACTORY 麺ノ響さんへご持参いただき、
「鶏白湯そば」「中華そば」「昆布水つけそば」
いずれかの麺類“スペシャル”をご注文いただいた方 ▶▶▶
※クーポンのご利用は2026.10.31まで

1杯につき **100円引き**

※お会計の時にこちらの誌面をご提示ください

サカイ sacayメイト募集!

フェニーチェ堺や堺市文化振興財団で取り扱うチケットを
便利にご購入いただけるサービスです。



登録数
73,000人

登録無料

詳しくは [sacayメイト](#) 検索



©オカジマ サエ

「**sacay
メイト**」
4つの特典

特典 01

先行予約
チケットがいち早く
予約できる
(一部公演を除く)

特典 02

**WEB
チケット購入**
どこからでも
チケットが買える

特典 03

メルマガ配信
最新の公演情報を
メールでいち早く
お届け

特典 04

その他
お得な情報が
届くかも?

フェニーチェ堺・堺市文化振興財団への

寄附のお願い

賛助会員の募集

フェニーチェ堺をはじめ堺市文化振興財団をご支援いただく寄附および賛助会員を募っております。公益財団法人である当財団への寄附は税制上の優遇措置が受けられます。賛助会員には会員特典としてフェニーチェ堺情報誌・活動報告書や堺 アルフォンス・ミュシャ館ミュージアムニュースの郵送のほか、堺 アルフォンス・ミュシャ館企画展へのご招待やフェニーチェ堺および堺市立樺文会館主催公演へのご招待などがございます。詳しくはホームページ、または堺市文化振興財団 総務課までお問い合わせください。

TEL.072-228-0114 (平日9:00~17:30) FAX.072-228-0115

賛助会員の
お申込みはこちら



ミュシャの
才能を
体感しよう!

ミュシャ博覧会
EXPO RETURNS

2026 8/1 sat. ▶ 11/29 sun.

ポスター、デッサン、挿絵、油絵、彫刻、ジュエリーetc...幅広いジャンルのミュシャの作品を展示した2021年の「ミュシャ芸術博覧会」がリニューアルして帰ってくる!体験コーナーやガイドブック、スタンプなどのコンテンツも充実。こどもから大人までみんなが楽しめます!

堺 アルフォンス・ミュシャ館

【開館時間】9:30~17:15
(入館は16:30まで)
【休 館 日】月曜日(ただし8/10、9/21、10/12、11/2・23は開館)、10/13、11/4・24
【観覧料金】一般 510円/高校・大学生 310円/小・中学生 100円
【主催】公益財団法人堺市文化振興財団/堺 アルフォンス・ミュシャ館
【後援】在堺チェコ共和国名誉領事館
【協力】ソフィア・堺プラネタリウム

〒590-0014 堺市堺区田出井町1-2-200
ベルマーシェ堺式番館
(JR阪和線 堺駅下車徒歩約3分)
TEL) 072-222-5533
FAX) 072-222-6833
(HP) <https://mucha.sakai-bunshin.com>

※小学生未満、堺市内にお住まいの満65歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方と介助の方は無料。
※20人以上の団体は割引料金適用となります。事前にお問い合わせください。
※その他各種提携割引制度があります。



ミュシャ館HP

本展に関するイベントやワークショップも開催予定! 詳しくは当館HPで!

F
E
N
I
C
E

S
A
C
A
Y

フェニーチェ堺 2026 Vol.35
まちと劇場

特集
藤田真央 スペシャルインタビュー
「ガボール・タカーチ=ナジ指揮
ヴェルビエ祝祭室内管弦楽団 藤田真央(ピアノ)」

〈Pick Up〉
「ザクセン声楽アンサンブル 創設30周年記念コンサート」
「東京混声合唱団 堺特別演奏会」

●堺のまち・ひと「Akai Masaru Art Museum」
●寄り道ふえにーちえ「THE NOODLE FACTORY 麺ノ響」

～2026.11.14 主な主催公演・イベント FENICE SACAY CALENDAR

9/30 水曜日	クラシック	10/12 月曜日・祝	クラシック	10/14 水曜日	文 楽	10/18 日曜日	イ ベ ント
ロンドン交響楽団2026 指揮 サー・アントニオ・パッパーノ		ガボール・タカーチ=ナジ指揮 ヴェルビエ祝祭室内管弦楽団 藤田真央(ピアノ)		ワカテdeワカル フェニーチェ文楽 vol.7		パンフェスタ堺 2026	
開演19:00		開演14:00		開演 ①11:30 ②15:00		時間10:00～15:00	
10/23 金曜日	トークライブ	10/24 土曜日	クラシック	10/25 日曜日	落 語	11/14 土曜日	合 唱
マーキー FreeStyle カルチャー Talk4		ターリストリオ・ コンサートツアー2026 堺公演 一和洋の響きと調和ー		鳳凰亭落語シリーズ 桂かい枝独演会		東京混声合唱団 堺特別演奏会	
開演19:00		開演14:00		開演14:00		開演14:00	

◎文化庁シンボルマークの付いた公演は令和8年度の文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)| 独立行政法人日本芸術文化振興会の助成対象事業です。

チケット購入方法

WEB電話窓口

WEB購入

6:00～翌2:00

チケット購入ページ
sacayメイトへの
登録が必要です

sacayメイト チケット

検索

セブン-イレブン
ファミリーマート
配送、会館引取
(引取)
※配送と会館引取は
クレジット支払いのみ

電話予約

10:00～18:00

堺市文化振興財団チケットセンター
☎0570-08-0089

【チケット】
予約専用

※一部携帯・CATV接続電話・IP電話からはご利用いただけません。

セブン-イレブン
ファミリーマート
配送
(引取)

窓口
直接購入

9:00～20:00

一般発売日の翌週より
残席がある場合のみ販売

◆フェニーチェ堺 TEL.072-223-1000
大阪府堺市堺区鶴橋町 2丁1-1 (南海高野線「堺東」駅徒歩8分)
休館日:第1・3月曜(祝日の場合は翌平日)および年末年始

◆堺市立柊文化会館 TEL.072-296-0015
大阪府堺市南区桃山台 2丁1-2 (南海電鉄北線「柊・美木多」駅徒歩2分)
休館日:月曜(祝日の場合は開館)および年末年始

※ご購入いただいたチケットは公演中止を除き、変更・キャンセルはできません。
※紛失・破損等いかなる場合においても再発行はいたしません。※WEB購入・電話予約での発券・配送には所定の手数料がかかります。
※最新の公演情報はフェニーチェ堺ホームページをご覧ください。都合により、出演者・曲目等の公演内容が変更になる場合がございます。

Editor's Voice	フェニーチェ堺の大ホールでは、2階ホワイエでビュッフェカウンターが営業しています。開場から開演を待つ間に同伴者とグラスワインを傾ける方や、休憩中にコーヒーと焼き菓子を楽しむ方など、合間のひとときも心豊かにすごしている“公演鑑賞の達人”の皆さまを見かけるたびに、大ホールにビュッフェカウンターがあってよかったと感じます。公演チケットをお持ちの方かご利用になれなかったり、休憩時間の関係でビュッフェカウンターの営業がない公演もあったりしますが、劇場で過ごす特別な時間を心ゆくまでご堪能ください。	フェニーチェ堺情報誌 Vol.35 編集:フェニーチェ堺(公益財団法人堺市文化振興財団)クエストルーム株式会社 デザイン:赤坂由有(goldfish projection) イラスト:オカジマ サエ 発行人:公益財団法人堺市文化振興財団
----------------	---	--

◎公演情報で“◎主催／フェニーチェ堺”と表記されているものは、フェニーチェ堺の指定管理者である公益財団法人堺市文化振興財団が開催する公演です。

劇場とわたし

10 ミチノ・ル・トゥールピヨン 総料理長 道野 正

天国の扉が開くとき

大阪交響楽団 フェニーチェ堺 名曲シリーズ Vol.4 〈2026年6月21日公演〉

料理を作る仕事をしているので、一日の大半を厨房で過ごす。その厨房にはタイマーがあちこちらにあって、頻繁にどれかが鳴っている。それをセットした本人が止めるのだが、ある時、鳴りやまないタイマーがあった。誰の?と問うと、シェフです、という答え。え、オレ?完全に忘れていた。オープンに肉の塊を入れていたことも。

びっくりした。今までそんなことはなかったのだ。どうしてこんなことになったのだろう。それが老いを意識した初めての出来事だった。いつの間にか70歳になっていた。

それから2年が経つのだが、びっくりした、というか、不思議だなあと思っていることがもう一つある。女性にモテたいという願望がほぼなくなっているのだ。まさか自分がそのように変化するとは意外だったのだが、それがどういう影響を及ぼしているかという、装いをこらすことにも興味がなくなっている。要するに、おしゃれをするのが面倒になっているのだ。人にどう見られるか、という気持ちの方向性は、じつは異性に対してが最優先だったのではないと思う。そしてそれがなくなったとき、昔は物欲の塊みたいな人間だったのに、欲しいものが見当たらなくなった。あの抑えがたいほどのエネルギーはどこにいったのだろう。残る人生がモノクロになったような寂しい気持ち。楽しいことが思い浮かばない。

それでもシェフである以上は、楽しんでるふりをしなければならないのだが、それも疲れるよなあ、と思っていたら、とても楽しそうな依頼が舞い込んできた。フェニーチェ堺でクラシック音楽の演奏を聴いて、感想文を書きなさいというワクワクするお仕事。二つ返事で引き受けた。そもそも行きたくてもなかなか機会がない、というのも、コンサートの開催は土日祝日が多く、我々の稼業にとってはその曜日は稼ぎ時で休めないからだ。

ここで少し話が脇道にそれるのだが、「天国の扉」という言葉がある。と言っても、これは私自身が勝手に作った言葉だから、少し説明させてください。

道野 正 (みちの ただし)

兵庫県生まれ。同志社大学神学部在籍中にフランス料理の美味しさに感銘を受け、料理の道へ転身したという異色の経歴を持つ。1985年に渡仏し「ラ・コートドール」などの名店で研鑽を積んだ。大阪の名店「シェ・ワダ」で副料理長を務めた後、「ミチノ・ル・トゥールピヨン」のオーナーシェフとして活躍。関西のフランス料理界を牽引している。著書に『料理人という生き方』などがある。

【劇場とわたし】は著名なアーティストや文化人がフェニーチェ堺に足を運び、実際に主催公演を鑑賞して書かれたものです。

私の店はフランス料理店で、昼夜ともにコース料理しかない。ディナーの場合は、オードヴル4品、魚料理に肉料理、それからデザート。デザートはお茶菓子を含め3品だが、これは私の妻が作る。パンも彼女の作品だ。そのような形で提供する場合、緩急が大切で、お客様が食べ飽きないように工夫をする。お待たせしないことも肝要で、そのためには手順を綿密に考え、正確に作業を進めなければならない。でも、立て込んでいるときはなかなか思い通りにはいかない。懸命にやっているのだが、毎回何かしら後悔が残る。お客様が気付くようなことはまずないと思うのだが、もっと良い仕事ができたのではないかという思いに苛まれる。ところがごく稀に、すべてがスムーズに流れていく時がある。手が、体が勝手に動く。実際は自分で動かしているはずなのだが。そして出来上がった料理は、自分が作ったとは思えない完成度で、息をのむほど美しい。

凄いい、と思う。そして、それは伝播する。デザートまでもが美しい。お客様にも伝わるのがわかる。皆さん、満面の笑みなのだ。店全体が喜びに包まれているようだ。そのとき私は思う。「天国の扉が開いた」。

ただお断りしておきたいのだが、これは降霊などというものではない。すべてはタイミングだ。シェフをはじめとする店側全員の体調と心理状態、同じお客様のコンディション、あるいは食材の状態や厨房の設備の調子、更にはその日の天候など、すべてのタイミングが合致したときに起こる現象だ。そして一番肝心なことは、その場に居合わせた全員の期待感がシンクロしていること。

頻度は、というと、36年間のシェフ生活で2,3回あったかなかったか。ほとんど惑星直列並みの確率だ。でもまた起こるかもしれない、あるいはそれが今の自分を支えているのではないかと思う。

ということで、コンサートのお話に戻ります。実は演奏前の音合わせが好きだ。全員が一つの音に整え、緊張感が盛り上がる。期待感が場内に満ちる、そんな高揚感がたまらない。演奏中は気づかないうちにうとうとしたりするけれど、でも、そのような覚束ない浮揚感もコンサートの楽しみだと勝手に思っている。普段はりつめている神経が緩んでいるからだ。心地よい。今回のCocomiさんのフルートが奏でるカルメン幻想曲には引き込まれるような情緒が横溢していた。そして思った。「楽しいことを見つけたぞ」。そこにはこんな期待感も含まれている。ここでなら「天国の扉」は開くのではないか。いやむしろ、劇場こそがそれに一番相応しい場所なのではないか。

耳をすませば音合わせが聞こえる。指揮者が登場する。観客の拍手が鳴りやんだ時、そのタクトが持ち上がる。演奏が始まる――。

02

03

藤田真央

スター・ピアニストが再びフェニーチェ堺に登場。
今年は藤田真央の国際的評価を決定づける契機となった
「ヴェルビエ音楽祭」のメンバーと、ベートーヴェンの協奏曲2曲を披露する。

—— 昨年9月の、チョン・ミョンフン指揮によるミラノ・スカラ座フィルとの堺公演、最高でした！
とても感動的なコンサートだったことをよく覚えています。ラフマニノフのピアノ協奏曲 第2番を、スカラ座フィルハーモニー管弦楽団、そしてチョン・ミョンフンさんとともに演奏できたこと自体が、とても特別な経験でした。フェニーチェ堺は本当に美しいホールで、自分の音が隅々まで自然に響き渡っていくことを、ステージの上からも感じるができます。演奏していて、とても幸せな気持ちになりました。アンコールで演奏したモーツァルトのソナタ K.545にも、お客様がとても温かく耳を傾けてくださり、その静かな空気がとても印象的でした。この日はツアーの最終日で、実は公演後、すぐに空港へ向かい、そのままヨーロッパへ戻るという慌ただしいスケジュールだったんです。それでも、堺に滞在している間はそんな慌ただしさをまったく感じさせないほど、スタッフの皆様が温かく迎えてくださり、本当にありがたかったですね。唯一心残りだったのは、時間がなく、ご当地の美味しいものを味わえなかったことです。今回はぜひ、そのリベンジもできたらと思っています。

—— 藤田さんが“我がホーム”と親しみを込めて語る音楽祭の精鋭集団による、今年10月の来日公演の期待も高まっております。
視線を世界に向けても「ヴェルビエ音楽祭」は本当にユニークな音楽祭だと思います。各分野の頂点を極めたアーティストたちが、スイスの美しい山の町に長期間滞在し、寝食をともにするような距離感で音楽を紡いでいく。その環境は他にはなかなかありません。第一線で活躍する演奏家同士の室内楽が数多く実現するのも、この音楽祭ならではの大きな魅力です。今年は（同地で）ヴァイオリニストのレオニダス・カヴァコスさんとのデュオ、そしてジョシュア・ベルさん、スティーヴン・イッサーリスさんとのトリオを演奏します。二十代後半になった今でも、学生時代のように世界最高峰の音楽家から学び、刺激を受けられる場所は私にとってヴェルビエ以外に思い浮かびません。私とヴェルビエとの出会いは2018年です。その前年、クララ・ハスキル国際ピアノコンクールで優勝した際、ファイナルの

演奏をヴェルビエ音楽祭の創設者であるマーティン・エングストロームさんが偶然聴いてくださって、お声がけいただいたのです。その招待を受けて、翌年初めてヴェルビエに約1か月滞在しました。当時はアカデミー生でしたので音楽祭に出演する偉大なアーティストのレッスンを受けたり、そのレッスンを聴講したり、朝、夕方、夜と毎日開かれる公演に足を運んだりしていましたね。会場までは山道を30分ほど歩くことも多く、2週間ほど経った頃には靴先に穴が開き、最後には修理もできないほど履き潰してしまいました。そんなことも今は懐かしい思い出です。それから3年後、初めてアーティストとして出演する機会をいただいて以来、夏は毎年ヴェルビエで過ごすことが私の習慣になりました。ヴェルビエの魅力は音楽だけではなく、毎年戻ってくるうちに、最初は一人もいなかった友人や知り合いが少しずつ増えていきました。共演するアーティストはもちろん、レストランのシェフ、ウェイター、ドライバー、街の方々まで、再会すると自然と言葉を交わすように

なっただんです。世界中から最高峰の音楽家が集まる一方で、小さな山の町ならではの温かい人とのつながりがある。その両方が共存している場所はヴェルビエ以外にはなかなかないように思います。

—— 今回の日本ツアーでは、同音楽祭のデビュー時に藤田さんと共演した名匠タカーチ＝ナジさんとのコンビも話題ですね。

ヴェルビエ祝祭室内管弦楽団は本当に生命力にあふれたオーケストラです。そして、その原動力となっているのがガボール・タカーチ＝ナジさんだと感じています。団員一人ひとりがとても自発的で、お互いにさまざまなアイデアを出し合いながら音楽をつくり上げていく。そのような創造的なアンサンブルは今ではとても貴重な存在ではないでしょうか。指揮者の指示を待つのではなく、それぞれが主体的に音楽を表現し、その積み重ねによって一つの演奏が生まれていきます。リハーサルでは笑いが絶えず、とても明るい雰

Mao Fujita Special Interview

Photo: Johanna Berghorn © Sony Music Entertainment

囲気なのですが、本番になると全員が驚くほど真剣な表情で音楽に向かいます。その切り替えの鮮やかさもこのオーケストラの大きな魅力ですね。ガボールさんご自身も、いつもはっきりとした言葉で情熱的に音楽を語られる方で、その熱いお人柄には自然と引き込まれてしまいます。以前、本番後に一緒にディナーでは2時間ほどのお食事の間、ほとんどガボールさんとお話されていました。食事が終わってもなお元気がいっぱい、その尽きることのない音楽への情熱と彼自身のスタミナには本当に驚かされました。

—— 今回演奏されるベートーヴェンの2つの協奏曲について、その聴き所などを教えてください。

ベートーヴェンのピアノ協奏曲で、私がとりわけ心を動かされるのは緩徐楽章です。第1番では、堂々としたハ長調の第1楽章と第3楽章に挟まれた変イ長調の第2楽章の存在が本当に特別です。変イ長調という調性の設定だけでも驚きですが、その音楽には深い温かみに満ちています。高音のトリ

ルが旋律をそっと支える場面などは、後年のソナタ作品109や111の世界を思わせるような瞬間ですね。第2番の緩徐楽章もまるで夢を見ているような美しさがあります。ソプラノ歌手がアリアを歌うかのような旋律が続くのです。技巧を披露するというより、一つひとつの音に息を吹き込み、自然な歌として響かせることを心掛けています。この二曲に限らず、作品を深く敬愛することを日々心がけて練習していますね。

—— 11月末の28歳の誕生日に発売予定の新作アルバムも楽しみですが、フェニーチェ堺での公演が待ち遠しいです。

アルバムについては、信頼しているアンドリス・ネルソンスさん、そしてゲヴァントハウス管弦楽団とのレコーディングを控えており、私もとても楽しみにしていますが、何より、また堺に帰って来られることが本当に嬉しく、皆さまと再び音楽を分かち合える日を心待ちにしております！

© Interview & Text / 東端哲也

10/12 月・祝 開演14:00 S¥26,000 A¥23,000 B¥19,000 C¥16,000 (予定枚数終了) U-25 (25歳以下) ¥6,000 大ホール

ガボール・タカーチ＝ナジ 指揮 ヴェルビエ祝祭室内管弦楽団 藤田真央 (ピアノ)

● 曲目 / ベートーヴェン: ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 作品19 (ピアノ: 藤田真央)、ピアノ協奏曲 第1番 ハ長調 作品15 (ピアノ: 藤田真央)、交響曲 第1番 ハ長調 作品21

スイスの夏を彩る「ヴェルビエ音楽祭」から精鋭たちが来日！
これまでの共演を通じて信頼を築いてきた名匠タカーチ＝ナジと藤田真央が奏でる、初期ベートーヴェンの珠玉のプログラムをご堪能ください。

公開リハーサルを実施 10/11 (日) 世界的アーティストたちによる音楽づくりの過程を特別にご覧いただける機会です。
※参加方法など詳細は、決まり次第ホームページにて発表

©主催 / フェニーチェ堺、読売テレビ 【チケット発売中】

チケット 取扱い	WEB 「sacayメイト」WEB購入	チケットぴあ	ローソン チケット	イープラス	★ 未就学児入場不可
	電話 電話購入 窓口 窓口購入 ※詳しい購入方法はP02をご参照ください				



© Agnieszka Biotik



© Nicolas brodard



© Dovile Sermokas

来たれ、合唱よ、来たれ フェニーチェ堺 秋の2大合唱公演

合唱は民衆や共同体、社会など、個人を取り巻く「世界の声」

「合唱」と聞いて、何を思い浮かべられるでしょうか。学校の合唱コンクール、あるいはコーラス部や合唱部で歌った経験を思い出す方もいらっしゃるでしょう。音楽表現のなかでも、複数の人が「ともに歌う」合唱は、多くの方にとって比較的身近なものだと思います。「コーラス」という言葉は、古代ギリシアの演劇で歌い踊る集団を意味した「コロス」に由来します。西洋音楽の歴史では、器楽が独立した芸術音楽として大きく発展する以前から、人の声を重ねることによって、精緻で豊かな表現が追求されてきました。中世後期には、アルス・ノヴァに象徴されるリズムや記譜法の発達を背景に多声音楽が高度化し、続くルネサンスの時代には、複数の声部がそれぞれ独立しながら響き合うポリフォニーの技法が洗練されました。教会音楽、世俗音楽を問わず、多様で完成度の高い作品が次々に生み出されていきます。

キリスト教会では、聖書や祈りの言葉を多くの声で歌う合唱が、共同体の信仰を表す重要な手段となりました。J・S・バッハのカンタータや受難曲、ミサ曲における合唱の重みを考えれば、そのことはよくわかります。一方、17世紀初頭にイタリアで誕生したオペラでも、合唱は重要な役割を担ってきました。独唱者が一人ひとりの登場人物の感情や意志を表すのに対し、合唱は民衆

や共同体、社会など、個人を取り巻く「世界の声」を表現します。合唱と器楽合奏の組み合わせは、ミサ曲やオラトリオなどの教会音楽のなかで豊かに発展しました。それを交響曲という器楽音楽の中心的なジャンルに持ち込み、決定的な一歩をのし上げたのが、ベートーヴェンの《交響曲第9番「合唱付」》です。この作品は後世の作曲家に新しい道を開き、やがて合唱を取り入れた交響曲が数多く書かれるようになりました。なかでもマーラーは、合唱を交響曲の壮大な構想そのものに深く組み込んだ作曲家です。そこに響くのもまた、個人の声を超え、自然や人間、宇宙までも包み込む「世界の声」だといえるでしょう。



小味 渕彦之（こみぶち ひろゆき）

音楽評論家。1971年、大阪市生まれ。関西学院大学、同大学院で音楽学を学ぶ。演奏会のための曲目解説、音楽評などを執筆するほか、コンサートのプロデュースも手がけてきた。ステージマネージャーとしても多くの演奏会に携わってきた。同志社女子大学准教授（音楽マネジメント）、豊中市立文化芸術センター総合館長。

Pick Up
02

11/14 日 開演14:00

全席指定 一般4,500 U-25(25歳以下)¥2,500 大ホール

東京混声合唱団 堺特別演奏会

今注目の指揮者 沖澤のどかと日本を代表するプロ合唱団が奏でるレクイエム

三大レクイエムの中でもっとも美しいといわれる、フォーレ作曲の鎮魂歌（レクイエム）。信長貴富の編曲による弦楽五重奏とオルガン版の、特別ヴァージョンで演奏します。第二部では、「この道」などおなじみの抒情歌や歌謡曲を、ナビゲーターのおしゃべりを交えながら楽しくお聴きいただきます。

【第一部】

- 曲目／ガブリエル・フォーレ作曲（信長貴富編曲）
レクイエム ニ短調 Op.48（オルガンと弦楽五重奏版）
- 指揮／沖澤のどか ● 弦楽五重奏／大阪交響楽団メンバー
- オルガン／中山幾美子 ● ソプラノ／大沢結衣
- バリトン／宮本益光

【第二部】

- 曲目／日本抒情歌曲集 林光編曲「からたちの花」「この道」ほか
合唱歌謡曲「あずさ2号」「異邦人」ほか
- 指揮／沖澤のどか ● 弦楽五重奏／大阪交響楽団メンバー
- ピアノ／鈴木慎崇 ● ナビゲーター／宮本益光



©Felix Broede

◎主催／フェニーチェ堺

【チケット発売中】

WEB 電話 窓口 ぴ 口 e ★

Pコード328-098 Lコード52365

文化庁



編曲者・信長貴富による、レクイエム編曲当時（2020年）の所感

今回の仕事はオーケストラの楽器編成を縮小するということであって、「新編曲」と大々的に冠していただくのは申し訳なさがある。とは言え、聴く人の違和感を最小にとどめる編曲は思いのほか難題で、いっそのこと全く異種の編成にアレンジする方が気持ちが軽くて済んだらう。オリジナル版のオーケストレーションは極めて抑制的である。例えばヴァイオリンは全曲通して半分以上は沈黙しているし、管楽器はときどき音色を加えるために奏されるにとどまる。ソプラノを超える音域でオーケストラが鳴る場面は極めて少なく、そのため声が楽器群に掻き消されることがない。フォーレの意識の中でこの曲は紛れもなく「合唱曲」なのだ。今回の編曲でも、作曲者が想ったであろう声と楽器群の溶け合った響きが再現できればと考えた。一方、ハーブを欠くことが大きな相違点であり、欠落感は補いがたい。経済的な編成の実現ということであらかじめ釈明させていただく次第である。



©中村紋子

◎解説の小味渕彦之さんが講師で登場する講座

8/28 金 開演13:30 自由席 ¥1,200 大人のための「好き」をみつける劇場への扉〈第2回 合唱編〉

ベートーヴェン「第九」のようにオーケストラと歌うものからアカペラや宗教曲まで、時代とともに移り変わってきた合唱の魅力をお伝えします。

大スタジオ ◎主催／フェニーチェ堺 【申込受付中】 WEB 窓口 ★

文化庁



Pick Up
01

9/22 火・祝 開演14:00

全席指定 一般¥3,000 U-18(18歳以下)¥1,000 小ホール

ザクセン声楽アンサンブル 創設30周年記念コンサート



名匠ユング指揮 至高のア・カペラでつづる古今の名曲

ドイツ・ドレスデンを拠点とする室内合唱団「ザクセン声楽アンサンブル」の創設30周年を記念した来日公演。バロック、ロマン派から現代作品まで、幅広い楽曲の数々を、洗練されたア・カペラのハーモニーでご堪能ください。

- 指揮／マティアス・ユング ● 合唱／ザクセン声楽アンサンブル
- 曲目／J.S.バッハ：来たれ、イエスよ、来たれ、シューマン：トウレーの王、メンデルスゾーン：秋の歌、ブリテン：フラワー・ソング2〜4 ほか

※9/23(水・祝)開催の堺市立柁文化会館での公演についてはP12をご覧ください

◎主催／フェニーチェ堺 ◎後援／大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館

【チケット発売中】

WEB 電話 窓口 ぴ 口 e ★ Pコード328-117 Lコード52368

文化庁

EXPO'70 FUND (公財) 関西・大阪21世紀協会

GOETHE INSTITUT

Kulturstiftung des Freistaates Sachsen



チケット
取扱い

WEB 「sacayメイト」WEB購入
電話 電話購入 窓口 窓口購入
※詳しい購入方法はP02をご参照ください

ぴ
チケットぴあ



ローソン
チケット



e
イープラス



★ 未就学児入場不可

クラシック 9/30 水 開演19:00 全席指定 S¥30,000 A¥27,000 B¥24,000 C¥21,000 D¥17,000 大ホール

野村ホールディングス株式会社
創立100周年記念公演
ロンドン交響楽団2026
指揮 サー・アントニオ・パッパーノ

世界最高峰のオーケストラ、ロンドン交響楽団がフェニーチェ堺へ。首席指揮者サー・アントニオ・パッパーノが率い、マーラーの大作・交響曲 第2番「復活」と、作曲家・藤倉大の新作《Amber Alchemy》の世界初演を披露します。名門オーケストラの圧倒的な響きと、東京混声合唱団の「復活」の歌声をご堪能ください。

- 指揮／サー・アントニオ・パッパーノ
- 管弦楽／ロンドン交響楽団
- ソプラノ／マリア・ベングトソン
- コントラルト／ノア・ペイナルト
- 合唱／東京混声合唱団
- 曲目／藤倉大:Amber Alchemy(野村ホールディングス株式会社 創立100周年記念 委嘱作)、マーラー:交響曲第2番「復活」

- ◎主催／フェニーチェ堺
- ◎特別協賛／野村ホールディングス
- ◎後援／プリティッシュ・カウンスル
- ◎協力／大阪高島屋

【チケット発売中】

WEB 電話 窓口

ぴ ロ e ★ Pコード325-190
Lコード56512



オペラ 9/5 土 開演15:00・6 日 開演14:00 大ホール

全席指定 SS¥15,000 S¥12,000 A¥10,000 B¥8,000 C¥5,000

堺シティオペラ 第41回定期公演
オペラ「魔笛」全2幕 原語上演(台詞日本語)・字幕付



王子タミーノと鳥刺しパパゲーノは、まことの幸せを求め試練に挑む…

- 作曲／W.A.モーツァルト ●台本／E.シカネーダー ●指揮／柴田真郎
- 演出／松本重孝 ●管弦楽／大阪交響楽団 ●合唱／堺シティオペラ記念合唱団
- 出演／[9/5(土)] 伊藤貴之(ザラストロ)、樹貴志(弁者)、端山梨奈(夜の女王)、西影星二(タミーノ)、古瀬まきを(パミーナ)、畑 奨(パパゲーノ)、高嶋優羽(パパゲーナ)
- [9/6(日)] 山田大智(ザラストロ)、福嶋 勲(弁者)、小川菜奈(夜の女王)、中島康博(タミーノ)、松原みなみ(パミーナ)、木村善明(パパゲーノ)、森田枝小莉(パパゲーナ) ほか
- 特別出演／江原啓之

※両日ともに、開演30分前より柴田真郎×江原啓之によるプレトークあり

◎主催／堺シティオペラ一般社団法人 ◎共催／フェニーチェ堺

【チケット発売中】

WEB 電話 窓口 ぴ ★ Pコード315-311



演劇 11/27 金～29 日 12/23 水～26 土 大スタジオ

[vol.15] 一般¥2,500 U-25(25歳以下)¥1,500
[vol.16 vol.17] 一般¥5,000 U-25(25歳以下)¥3,000

フェニーチェ演劇解体新書

講師の藤井颯太郎(俳優・作家・演出家)と参加者が一緒に考え、試しながら作っていくワークショップシリーズ。“少し学んで沢山考える”贅沢な時間です。

vol.15
「DRAMA発
THEATRE行き」
11/27(金)16:00～21:00
ドラマ脚本を演じる

vol.16
「遠距離演劇してみる？」
11/28(土)・29(日)13:30～18:30
遠くから眺める演劇を作ってみる

vol.17
タイトル未定
12/23(水)～26(土)19:00～21:00
詳細は後日発表！
※vol.16、17は全日程の参加を推奨

◆対象／中学生以上(未経験者歓迎)

◎主催／フェニーチェ堺

【申込受付は9月を予定】

WEB



クラシック 10/10 土 開演17:30 大ホール

全席指定 SS¥13,500 S¥9,800 A¥8,500 B¥7,900

ディズニー・オン・クラシック
まほうの夜の音楽会 2026

日本最大規模のオーケストラ・ツアー！ディズニーの輝く名曲の数々を、オーケストラとニューヨークで活躍するヴォーカリストの生演奏でお贈りします。今年は「Let It Go～扉をひらけ」をテーマに、『アナと雪の女王』をフィーチャー！その他、『アラジン』『モアナと伝説の海2』『ミラベルと魔法だらけの家』など、音楽・映像・照明が織りなすディズニーの世界をお楽しみください。プログラムの一部で個性豊かな悪役にフォーカスし、スリルと迫力満点のステージをお届けするミステリアス&ダーク・スペシャル。

●出演／リチャード・カーシー(指揮)、ヴォーカリスト、オーケストラ・ジャパン(オーケストラ)、ささきフランチェスコ(ナビゲーター)

◎主催／読売テレビ、キョードーエンタテインメント ◎共催／フェニーチェ堺

【チケット発売中】

WEB 電話 窓口 ★



Presentation licensed by Disney Concerts. ©Disney
TARZAN® Owned by Edgar Rice Burroughs, Inc. and Used by Permission.

文楽 10/14 水 開演 第一部11:30 第二部15:00 小ホール

全席指定 各部¥3,000

ワカテdeワカル
フェニーチェ文楽 vol.7

人間の情、性根を繊細に映す人形浄瑠璃文楽。今年3月の「THE フェニーチェ文楽」公演で好評を博した『壺観観音霊験記』沢市内より山の段の再演に加え、名曲『ひらかな盛衰記』より神崎揚屋の段という難易度の高い演目に、若手技芸員が挑戦します。次世代を担う若手による、一味違う演出にご期待ください。

- 出演／豊竹靖太夫、竹本碩太夫、鶴澤友之助、鶴澤燕二郎、吉田養紫郎 ほか
- トークコーナー／桐竹勘十郎、桂 吉坊(落語家)

◎主催／フェニーチェ堺
◎制作協力／一般社団法人 日本の伝統芸能
◎協力／関西舞台株式会社、株式会社コテンコテン

【チケット発売中】

WEB 電話 窓口 ぴ ロ e ★ Pコード542-811
Lコード55092



コンサート 10/23 金 開演18:30 大ホール

全席指定 ¥11,000

東海東京ファイナンシャル・グループ presents

葉加瀬太郎 コンサートツアー 2026
～30th Anniversary～THIS IS THIRTY

毎年多くのファンを魅了してきた葉加瀬太郎が、今年もフェニーチェ堺に登場。圧倒的なヴァイオリンの音色と心躍るステージで、特別なひとときをお届けします。

◎主催／BS朝日、キョードー大阪
◎共催／フェニーチェ堺

【8/8(土)チケット発売】

WEB 電話 ※4歳以下入場不可



トークライブ 10/23 金 開演19:00 大スタジオ

自由席 ¥3,000

マーキー FreeStyle
カルチャー Talk 4



昭和・平成・令和のポップカルチャーをラジオの世界から発信し続けてきた伝説のDJマーキーが、今気になるゲストを招きその魅力に迫る90分！第4回のゲストは、アコースティックギタリストの押尾コータロー。長年ラジオパーソナリティとして活躍する2人の、ここでしか聞けない内容を盛りだくさんでお送りします！

- ホスト／マーキー ●アシスタント／板東さえか
- DJ／オガワジュンゾウ(LOVE ATTACK!)

◎主催／フェニーチェ堺 ◎協力／株式会社マッシュアップ
◎後援／FM COCOLO ◎企画／株式会社 山川徳久事務所

【8/1(土)チケット発売】

WEB 電話 窓口 ぴ ロ e ★



クラシック 10/24 土 開演14:00 小ホール

全席指定 一般¥2,800 U-18(18歳以下)¥1,000

ターリストリオ・コンサートツアー2026 堺公演
— 和洋の響きと調和 —



ドイツを拠点に欧州で活躍するターリストリオがフェニーチェ堺に登場！
堺が生んだチェリスト岡田琢朗がドイツから迎える2人の奏者とともに、息
をもつかせぬ駆け引きや心揺さぶるハーモニーを紡ぎ出します。世界で注
目される堺出身の作曲家・石若雅弥の新作日本初演もお聴き逃しなく！

●出演／TALISTRIO(ターリストリオ):エリーザ・グンマー(ヴァイオリン)、岡田琢朗
(チェロ)、コンスタンティン・ルキノフ(ピアノ) ●オープニング演奏／堺市立大浜中
学校 合唱部 ●曲目／石若雅弥:For Japanese Seasons(日本初演)、F.メンデルス
ゾーン:ピアノトリオ 第1番 二短調 Op.49 ほか

◎主催／フェニーチェ堺
【チケット発売中】

WEB 電話 窓口 ぴ 口 e ★ Pコード328-120
Lコード52371

落語 10/25 日 開演14:00 小ホール

全席指定 ¥3,500

鳳凰亭落語シリーズ
桂かい枝 独演会

初心者から落語好きの方まで幅
広く楽しめる、かい枝落語。いつで
もどこでもだれでもゴキゲン！な話
芸を、ご堪能あれ。

●出演／桂かい枝、露の瑞、桂 源太
●演目／「芝浜」ほか計3席

桂かい枝からのメッセージ
フェニーチェ堺での独演会も今
回で5回目。満を持して大ネタ
の人情噺「芝浜」に挑みます。
江戸では笑いはほとんどない形
で演じられますが、僕は松竹新
喜劇ばりに笑いと涙の人情喜
劇風に演出しています。泣いて
笑って感動して、落語の魅力を
満喫してください！



◎主催／フェニーチェ堺
◎協賛／セルビスグループ
【チケット発売中】

WEB 電話 窓口 ぴ 口 e ★ Pコード542-922
Lコード52784

オペラ 11/1 日 開演14:00 大ホール

全席指定 S¥15,000 A¥12,000 B¥10,000 C¥8,000 D¥5,000

東京二期会オペラ
ビゼー作曲 オペラ「カルメン」
全4幕 日本語字幕付原語(フランス語)上演



愛と激情、そして悲劇—

色褪せることのない名曲で彩られた不滅のオペラ！

●指揮／ユージン・ツィガーン ●演出・衣裳／イリーナ・ブルック
●出演／加藤のぞみ(カルメン)、澤原行正(ドン・ホセ) ほか
●管弦楽／大阪交響楽団 ●合唱／二期会合唱団
●児童合唱／堺市少年少女合唱団・堺リープスハーモニー

※本公演は、文化庁 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業の支援により、
18歳以下の方は無料でご鑑賞いただけます(同伴の保護者の方は半額)。

◎主催／公益財団法人東京二期会
◎共催／公益財団法人堺市文化振興財団/公益社団法人 大阪交響楽団
【チケット発売中】

WEB 電話 窓口 ★

講座 11/11 水 開演13:30 大スタジオ

自由席 ¥1,200

フェニーチェ堺 講座シリーズ
《大人のための「好き」をみつける劇場への扉》
第3回 落語編



噺家(はなしか)が座布団の上に座ったまま、しゃべりと仕草だけで物語を
演じる日本の伝統的な話芸、「落語」。今も昔も変わらず、人間の喜怒哀
楽を伝える話芸の魅力を落語作家とひも解き、実際の高座もお楽しみい
ただきます。

●講師／小佐田定雄(落語作家)
●ゲスト／桂二豆(落語家)

◎主催／フェニーチェ堺
【8/29(土)チケット発売】

WEB 電話 窓口 ★

アート 9/16 水～30 水 展示・交流・創作ガレリア
映画上映・小ホール

入場無料 9:00～20:00(最終入場時間19:30) ※9月24日(木)は休館

だーれが描いた？ なーにを描いた？
表現のフシギ展 第2回

前回好評を博した「表現のフシ
ギ展」を今年も開催。関西を代
表する「やまなみ工房」「たんば
おの家アートセンターHANA」
と地元・堺の「ユウの家」から、
障がいのある方が創作した
Amazingな作品約20点が
やってくる！



◎9/25(金)には、やまなみ工
房のアーティストたちが実名で
登場するドキュメンタリー映画
「地蔵とリビドー」(2018年/62
分)を小ホールで上映します。
終映後は、山下完和氏(やまな
み工房 施設長)とアサダワタル氏(アーティスト・文筆家)を招いてのトーク
セッションも。鑑賞の申し込みはホームページにて。

◆映画上映「地蔵とリビドー」9/25(金)
上映14:00、トークセッション15:20～16:00
入場無料(要事前申込、自由席)

◎主催／フェニーチェ堺
◎協力／社会福祉法人やまなみ会、一般財団法人たんばおの家
社会福祉法人わたぼうしの会、社会福祉法人ユウの家

クラシック 11/17 火 開演14:00 大スタジオ

自由席 ¥1,500

音楽のあるひととき Vol.23
～ヴィルトゥオーゾの巡り合い～



大阪交響楽団のメンバーがお届けする、気軽に楽しめる1時間(ひととき)。
音域も役割も対照的な弦楽器、ヴァイオリンとコントラバスが持つ高度な
技巧と豊かな表現力をご紹介します。2人のヴィルトゥオーゾ(高度な技巧を
持つ演奏家)が織りなす、鮮やかな音の対話をどうぞお楽しみください。

●出演／Trio KAYO[米川じやか(ヴァイオリン/大阪交響楽団)、大槻健太郎(コ
ントラバス/大阪交響楽団)、安達萌(ピアノ)]
●曲目／ジョヴァンニ・ボッテジニ:グラン・デュオ・コンチェルト タンテ ほか

◎主催／フェニーチェ堺、公益社団法人 大阪交響楽団
【9/5(土)チケット発売】

WEB 電話 窓口 口 ★

イベント 10/18 日 時間 10:00～15:00 翁橋公園

入場無料

パンフェスタ堺 2026



堺の人気パン屋さんが大集合！“パン王子”こと浅香正和氏をアドバイザー
に迎え、堺の秋の風物詩「パンフェスタ堺」を今年もにぎやかに開催しま
す。パン王子セレクトの、堺市外のパン屋さんも登場。各店舗自慢の様々
なパンの中から、自分の推しパンを見つけに来てください。

※10:00～11:00の間は入場制限・購入制限を実施します。
状況により、延長の可能性あり。

※出店店舗などの詳細は、8月下旬にホームページにて発表

◎主催／フェニーチェ堺

イベント 11/28 土 時間 11:00～17:00 翁橋公園

入場無料(有料工作イベントあり)

こども劇場パーク



こどもも大人も一日楽しめる屋外イベント“こども劇場パーク”！今年は『仮
面舞踏会』をテーマに、仮面やマントをつくって大変身する工作イベントな
ど、親子で楽しめる仕掛けが盛りだくさん。夕暮れ時に開かれる仮面舞踏会
では、気づけば一緒に踊っているかも?! 昨年好評だった「堺のめぐみ」の
野菜販売や、キッチンカーもやってきます。ご家族でぜひお越しください。

※雨天の場合は一部内容を変更し、小ホールで開催

◎主催／フェニーチェ堺

※詳細は決まり次第ホームページにて発表

堺市文化振興財団 イベント情報

9/23 水・祝 【開演14:00】
梅文化会館 ホール

ザクセン声楽アンサンブル
～創設30周年記念コンサート in 梅～



ドイツ音楽の中心地ドレスデンが生んだ至純のア・カペラ
●指揮／マティアス・ユング ●共演／堺プロイデ合唱団

全席指定 ¥3,000 (当日¥3,500)

【チケット発売中】

◎お問合せ／梅文化会館 ☎072-296-0015

【主催】梅文化会館 【後援】大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館

【助成】ゲーテ・インスティテュート/ザクセン文化財団

WEB 電話 窓口 電子決済 予約コード52863

EXPO'70 FUND



チケット取扱い

WEB 「sacayメイト」WEB購入

窓口 窓口購入

※詳しい購入方法はP02をご参照ください

電話 電話購入



チケット
ぴあ



ローソン
チケット



イープラス

未就学児
入場不可

ポッドキャストで公演体験！

フェニーチェ堺
after stage

大ホールと小ホールで行われたフェニーチェ堺主催公演の来場者アンケートの感想を一部抜粋して紹介する、約10分間の音声配信番組「フェニーチェ堺 after stage」。公演にまつわるプチ情報や、終演後に出演者から直接うかがったお話などもお伝えしています。聴取は無料です。



最近の配信内容

- '26 5/6 (水・祝)
「音楽のあるひととき Vol.22」
- 〈特別編〉マーキー×山本浩之
「マーキー Free Style
カルチャー Talk3」アフタートーク
- '26 6/21 (日)
「大阪交響楽団
フェニーチェ堺名曲シリーズ Vol.4」
(ソリスト:Cocomi)
- '26 6/28 (日)
「オペラを愉しむシリーズ
福島 勲が語る『魔笛の暗号』」

のびのび楽しむはじめての芸術体験 ～アートスタートプログラム～

堺市文化振興財団では、学校、こども園、病院、福祉施設、こども食堂といった地域の様々な場所でコンサートやワークショップを実施しています。クラシック音楽やオペラ、バレエ、伝統芸能などの鑑賞プログラムから、絵画や造形、コンテンポラリーダンス、演劇などのワークショップまで、幅広いジャンルのアーティストと連携し、実施先の先生やスタッフの方とコミュニケーションを取りながらプログラムを企画しています。

また、こうした現場で活動したい若手アーティストの育成支援にも取り組んでいます。

「アートスタートプログラム」とは、堺市内の幼稚園・保育園・認定こども園等を対象に芸術家を派遣する事業です。音楽・粘土・造形・身体表現の4つのプログラムがあり、遊び・鑑賞・表現をベースに、新しい世界に出会い、お友達や大人と関わりあいながら、のびのびと表現できる時間をアーティストとともに過ごしています。

堺市新進アーティストバンクの音楽部門登録者が中心となり鑑賞の時間をお届けする音楽体験プログラムや、アーティストと一緒に陶芸のお皿づくりに挑戦できる粘土体験プログラムは、毎年とても人気があります。造形体験プログラムでは、これまでに、ハケやロー



ラーと絵の具を使った大きな色紙づくりや、魅力的な“ハイザイ”を用いた工作、はりがねのドローイング、塩を使ったお絵描きなど、様々なワークショップを実施してきました。身体表現プログラムでは、ダンサーや俳優と一緒に遊びながら、身体を使った表現のおもしろさを体験することもできます。これらのプログラムはどれも、園の先生方に普段のこどもたちの様子をうかがい、その内容をもとに企画・提案しているものです。

堺市文化振興財団では、こどもたちが芸術やアーティストと出会う機会と、のびのびと表現できるきっかけが生まれる場を、これからつくっていきます。



事業紹介・
実施報告はこちら



コンサート
だけじゃない!

みんなのフェニーチェ

フェニーチェ堺ではこどもたちや地域の皆様に向けて、毎年様々なイベントを開催しています。
楽しみながら多様な文化・芸術に触れることで、きっと新しい扉が開かれるはず!

まちなか落語めぐり

◎2026年3月24日(火)

多目的室

地域活性化の取り組みのひとつとして行った「まちなか落語めぐり」。堺区を舞台にした創作落語の本邦初披露と、ゲストを招いての観光トークで盛り上がりしました。出演は堺市出身の落語家・笑福亭喬介さんと観光案内の達人・川上浩さん。堺の新名所や珍スポット、思わず出かけたくなる情報や驚きのエピソードがいくつも飛び出しました。この日の落語と観光トークはYou Tubeのフェニーチェ堺公式でご覧いただけます。創作落語から生まれたオリジナルマップもダウンロードできるので、まち歩きにご活用ください。

◎創作落語「堺 名所めぐり」&観光トークの視聴はコチラ▶



鑑賞チケットでGO!

堺東周辺エリア

フェニーチェ堺の鑑賞チケット・半券を提示するとお得な割引やサービスが受けられる『鑑賞チケットでGO!』の第1弾を実施しました。今回は「じゅらく(お好み焼き)」「広東酒家 結(中華料理)」「源平水軍 堺東店」「和と鉄板 アオニサイ」「tanacurry(カレー)」「とりさし梅松 堺東店」の6店舗が参加。ドリンク1杯無料やお好きなトッピングのサービス、おすすめ料理の一品無料提供などで、フェニーチェ堺のコンサートに来られたお客様をおもてなしいたしました。

◎第2弾は8/1(土)～12/28(月)を予定しています。



ミュシャからのたより

19世紀末から20世紀初頭のアル・ヌーヴォー期を代表する芸術家アルフォンス・ミュシャの作品約520点を所蔵する、世界有数の専門美術館【堺 アルフォンス・ミュシャ館】。現在開催中もしくは近々開催される企画展より、注目の作品をご紹介します。

※企画展の詳細は本誌裏表紙をご覧ください。

音楽：四芸術

「詩」、「ダンス」、「絵画」とともに4つの芸術を女性で表した四芸術シリーズのポスターの一つです。ミュシャは4つの芸術をいずれも裾の長い古代風のローブとアクセサリーを着けた芸術の女神のような女性たちの姿で表しました。西洋美術で「音楽」を表す時、普通は人物と一緒に弦楽器などを一緒に描くことが多いですが、本作には楽器が描かれていません。しかし女性が両手を添えて耳をすますポーズや、女性の後ろで枝にとまっている鳥たちは空に向かってさえずっているようで、音との関わりを連想させます。さらに画面上部左右の隅には花に集まる虫たちがいて賑やかな羽音が聞こえてくるようです。ミュシャは19世紀末のヨーロッパで流行した曲線的なデザインや自然のモチーフを用いた装飾芸術「アル・ヌーヴォー」を代表する画家です。本作も空中を浮遊しているようなカーブを描く髪や衣装、装飾モチーフが組み合わせられ、華やかな画面を作っています。



アルフォンス・ミュシャ(音楽:四芸術)1898年
リトグラフ、紙 堺 アルフォンス・ミュシャ館(堺市)蔵



サカイトラス サルト SACAY TERRACE SALTO ☎072-242-3850

フェニーチェ堺での公演鑑賞の前後に立ち寄れる、イタリアンレストラン「SACAY TERRACE SALTO(サカイトラス サルト)」。

新鮮な食材を使った定番イタリアンに、高温で一気に焼き上げる薪窯ピッツァ、季節のスイーツも。風を感じるテラスではBBQも楽しめます。

大人数でのご利用や貸切にも対応。

- 営業時間 / 11:00~22:00 [ランチ] 11:00~15:00 (l.o.)
[ディナー] 17:00~21:00 (l.o.) [カフェ] 11:00~21:00 (l.o.)
- 席数 / 店内約90席 テラス20席 (テイクアウトあり)



堺のまちひと Town & people SAKAI city

MAP 01

Akai Masaru Art Museum

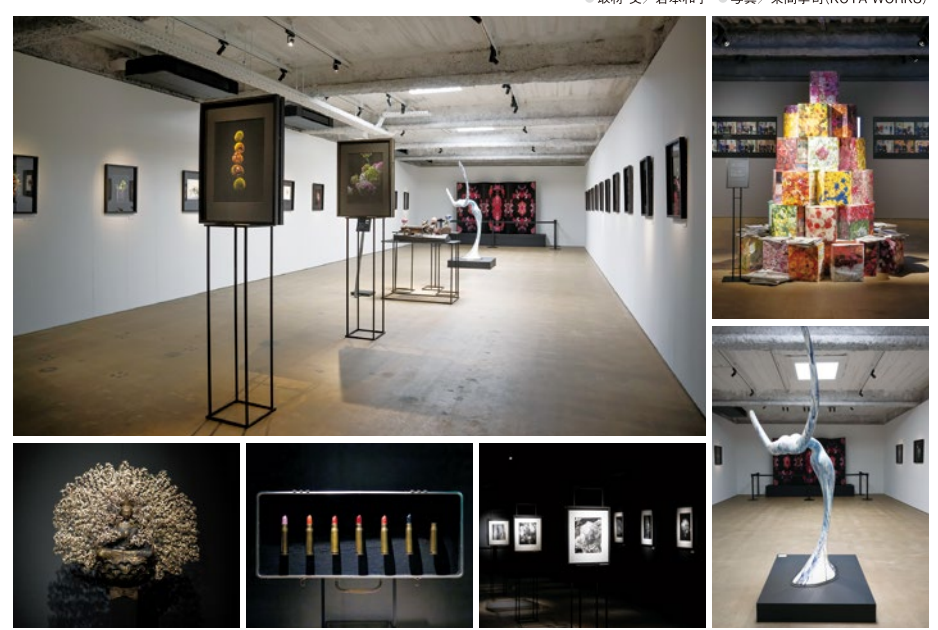
花で人の心を動かし、場の空気を変え、まちに新しい表情を創出

取材・文 / 岩本和子 写真 / 来間孝司 (KOYA WORKS)

西 区浜寺公園町にある「Akai Masaru Art Museum」。ここは、自らを「花人(かじん)」と呼ぶ赤井勝さんの表現に触れられるアトリエで、2024年に開設しました。赤井さんは2025年に文化庁長官特別表彰を受け、自身初の作品展も開催。大阪・関西万博でのライブパフォーマンスも注目を集めるなど、花と人をつなぐ話題の「花人」です。花を飾ることを、赤井さんは単なる技術ではなく、その場を整え、人を迎えるための営みとして考えてきました。華道家やフラワーデザイナーという枠にとどまらず、花とともに生きてきたからこそ、「花人」という言葉がしっくりきます。

赤井さんの原点は、花屋を営むお母様のそばで過ごしたことも時代にあります。幼い頃から花に親しみ、台所にあるフライパンやタッパーに花をいけていたという思い出も、赤井さんらしい自由な発想の源。まず花が身近にあることが大切だという感覚は、この頃から育まれてきたのでしょう。

15歳で花の世界に入り、表現を少しずつ広げてきました。従来の生け花だけでなく、海外から入ってきたフラワーアレンジメントの考え方にも出会ったことで、花を360度の空間でとらえる面白さを知ったとい



います。赤井さんは、その変化を「自分にとってすごい重大なことが起きた」と語ります。ただ美しくいけるのではなく、イベントならその趣旨を、ブランドならその世界観を考える。花の向こうにある人や空間まで見つめることが、赤井さんの仕事の大きな特徴です。このアトリエで印象的なのが、モノクロとカラーを行き来する写真表現です。モノクロについて「クエスチョンが残る方がいい」と赤井さん。色がわからない

からこそ、見る人の想像が広がる。答えをひとつに決めるのではなく、それぞれの見え方を大切にしたいという思いがそこにあります。空間の余白ごと届けようとする姿勢も、赤井さんの表現の魅力です。堺についても「歴史があるし、もっともっとアピールできる」と期待を寄せます。花で人の心を動かし、場所の空気を変え、まちに新しい表情を創り出す。花を通して堺の魅力を照らし出しています。



Akai Masaru Art Museum

〒590-8346 大阪府堺市西区浜寺公園町1丁22-5
● 開館予定日や開館時間は公式サイトで告知

寄り道 ふえに~ちえ Drop by FENICE

MAP 02

取材・文 / 岩本和子
写真 / 来間孝司 (KOYA WORKS)

ザ・ヌードル・ファクトリー THE NOODLE FACTORY 麺ノ響

〒590-0938 大阪府堺市堺区神明町西3-1-22 ● 不定休 ● P5台
● 昼営業11:00~15:00 (L.O.14:30) 夜営業17:00~22:00 (L.O.21:30)



泡立つ鶏白湯と自家製麺、余韻まで味わいたいーめんファクトリー

堺 市堺区の神明町西に2025年5月にオープンした「THE NOODLE FACTORY 麺ノ響」。もともと印刷工場だった建物を生かした店内は、ゆったりとしたスタイリッシュな和モダン空間が広がっています。

メニューは「泡系鶏白湯そば」「中華そば」「昆布水つけそば」の三本立て。そのうちの一番人気は、泡系濃厚鶏白湯そばの「響スペシャル」(1,450円)です。高火力で炊き上げた鶏ガラと丸鶏のスープを丁寧に乳化させた白い泡の上に、豚肩と鶏の2種のチャーシュー、味玉、レモン、水菜、赤玉ねぎ、そして揚げブロッコリーと紅生姜天をトッピング。そして、「一番の強み」の自家製麺が味わえる一杯です。「鶏白湯の

味を最大限引き出すようなかえしにしよう」と試食を重ねた末、スタッフ全員でこれや!と手応えをつかみました」と店長の前田さん。店内の製麺室で作られる麺も、鶏白湯にしっかり絡む一本を目指して、試作を重ねたといいます。

「鶏白湯つけそば」(1,150円)もおすすです。「何より麺のおいしさをまっすぐ味わえる」とのこと。「初めのひと口は、麺に塩をかけて食べていただく。それだけでもおいしいですよ」と、提供時には食べ方も伝えてくれます。昆布水をまとった麺を味わい、次に濃厚なつけ汁へぐらせる。この順番で食べ進めると、麺の香り、つけ汁のコク、口の中に残る余韻が少しずつ重なり、つけ麺の奥深さにも触れられるはず。



こちらの誌面をご持参いただき「鶏白湯そば」「中華そば」「昆布水つけそば」いずれかの種類「スペシャル」をご注文の方

1杯につき100円引き

※クーポンご利用は2026.10.31まで

